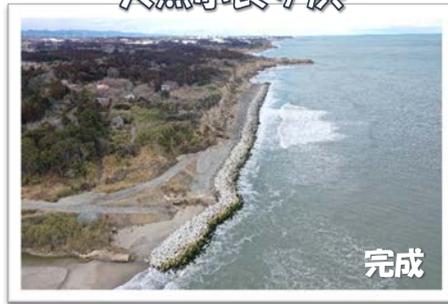


HIRAO NEWS

'21.3月号 -Vol.19-

横山・平尾特定建設工事共同企業体 田中・平尾特定建設工事共同企業体

富岡小良ヶ浜・大熊小良ヶ浜 完成しました！



現場名：公共災害復旧（再復）工事（海岸）
 工期：令和 1年12月27日～令和 3年 3月31日
 工事内容：東日本大震災で被害を受けた消波堤の復旧を目的とした、
 消波ブロック製作据付を行う工事です。

おっかれさまでした！ 



工事内容が同じため、同時掲載しています。

① 消波ブロックの運搬、据付けを行うための工事用道路を施工します。



② 消波ブロックを製作します。



今回の工事で使用した
消波ブロックの種類は
なんと5種類！
施工順序や工程管理も
大変だったようです。



③ 消波ブロックの据付をします。



NEXT PAGE

Interview

富岡小良ヶ浜

—どの作業工程が一番の課題でしたか？

既設消波ブロックの高さが低く、常に波が作業路へ被る状況だったため、毎日工事用道路の補修作業が発生し、ブロックの据付作業が出来ませんでした。そこで、新たに製作したブロックを波避けとして仮置きしながら工事用道路を作り、終点までの作業路を確保し対処しました。



▲ 波が既設ブロックを超えてくる様子です。



▲ 工事用道路を造っても、次の日には壊れていました。



▲ 新ブロックを仮置きしながら、終点まで作業路を確保しました。



—現場で工夫した点はなんですか？

施工延長が800mと長い距離のブロック据え付け作業であり、波の影響で工期が左右される工事でした。
新規製作ブロックや既設ブロックを利用しながら作業路を確保し、作業中止日を出来るだけ少なくしたため、
工期内に竣工することが出来ました。

また、施工場所が高い地山と海の間に挟まれた狭い場所にあったので、120tクローラクレーンの待機場所等の計画を立てたり、頻繁に工事用道路の補修作業があったりと単工種ではありましたが大変でした。**危険な条件の中、無事故**で終わることができて良かったと思います。



▲ 高い地山を背にしながらの作業だったため、地山の点検には細心の注意を払い作業した。地震後は地山の崩落もあった。



取材にご協力いただきありがとうございました！

造ったものが次の日には壊れてしまうような状況の中で、対策を考え、柔軟に対応したんですね。施工環境が良くない場所での作業でしたが、無事故で竣工できたことを誇りに思います！

Interview

大熊小良ヶ浜

—どの作業工程が一番の課題でしたか？

現況に高低差があり、借地出来ない箇所や地山の形状を変えてはいけない箇所があったため、海岸への進入ルートの確保が難しかったです。



—現場で工夫した点はなんですか？

消波ブロック据え付け後の沈下が予想されたため、旧消波ブロックを早い段階で水中部に据付、沈下量を計測し、より正確な製作数量を確定させたことです。
台風等での被害も十分に考えられたため、据付時期についても計画し、手直しをすることもなく工事を完成することが出来ました。



来月の行事日程

4/1 祈願祭

4/7 安全衛生委員会

4/29 昭和の日

3月に入り、花粉が舞う季節になりました。

寒暖差の激しい日もありますので、体調管理に気を付けましょう。

新型コロナウイルスのワクチン接種も始まりましたが、山形県では感染者数が急激に増加しています。気を緩めず感染対策を忘れないようにしましょう。

新年度も無事故無災害で頑張りましょう！

編集後記

取材にご協力いただきありがとうございました！

あらかじめ先を見据えて正確な製作数量を確定させ、より無駄のない施工を行ったことが素晴らしいと思いました！

